



2学年 学年だよ!



令和4年 6月24日
大和市立つきみ野中学校
第7号

キャンプ 2日目

前号ではキャンプ1日目に触れましたので、今号ではキャンプ2日目の様子をお伝えします。

2日目は起床が6時ということで、起きられるかと心配している生徒がたくさんいたのですが、心配なかったようです。私が6時前に職員の部屋のカーテンを開けると、同じくカーテンを開けている近くのコテージの様子をうかがうことができました。そこには、もうすでに起きだした生徒たちが、布団を片付け、思い思いに活動している姿がありました。その時点で起きていなかった生徒たちも、吹奏楽部の2名が4つの広場を回り、起床のトランペットを演奏して起こしてくれました。朝の集いではつき中体操をし、その後カートンドッグを調理して食べました。カートンドッグの調理にはアルミホイルが必要だったのですが、十分なアルミホイルを用意することができず、ご迷惑をおかけしました。けれど生徒たちは、そんなハプニングも、仲間と知恵を働かせて乗り切っていました。閉村式後には丸太の森へ移動し、半々に分かれてパカブ体験と森のサファリラリー、最後はクラスレクを楽しみました。2日間を通して自分の係の仕事に責任を持って取り組む姿、困っている友だちを助ける姿、何よりたくさんの笑顔が見ることができ、とても嬉しく思いました。

生徒の作文紹介

~今回は1・3・5・7・9組です~



『思い出の一ページ』

1組

キャンプ当日、不安な気持ちで学校に行った。私は小学校の時に行ったキャンプに良い思い出がなく、今回のキャンプもそうならないかと、とても怖かった。キャンプ1日目。登山が雨のために中止になり、代わりにウォークラリーをやった。私たちの班は、たがいに協力し、無事、目的地にたどり着くことができた。野外炊事も協力してできた。お米はおかゆになってしまったが、とてもおいしかった。そして、キャンプの一大イベントであるキャンプファイヤーでは、それぞれのクラスのスタンプはもちろん、WANIMAの『ともに』を全員で歌うことができてとても楽しかった。なにより暗闇に『キセキ』の文字がキレイに光っているあの光景は、今でも鮮明に思い出せるほどステキなものだった。

キャンプ2日目。朝早く起きて集会が終わった後、私は「パカブがしたい」という気持ちと「高所恐怖症の私ができるのか」という不安な気持ちで揺れていた。実際にやってみると、足が震えすぎて動けなくなってしまいそうだった私に、友だちが手を貸してくれて、私はパカブを満喫することができた。

私はこのキャンプで、人と協力することの大切さや、人への感謝を感じることができた。



『成長できたキャンプ』

3組

私は今回のキャンプで実行委員長を務めました。事前準備の段階では何度も話し合いをしなければならなかったり、しおりの作成では沢山の修正が見つかったりと、幾度となく心が折れかけましたが、周りの励ましもあり、なんとか頑張ることができました。実行委員長としてみんなの前で挨拶をする際には、「自分の言葉」で話すことの難しさも痛感しました。

いよいよキャンプ当日。前日は快晴でしたが、当日は「雨」という天気予報ははずれることもなく、朝から雨が降っていました。けれど、私はワクワクする気持ちでいっぱいでした。1泊2日のキャンプを振り返って1番思い出に残ったのはキャンプファイヤーです。ダンスバトルではウッディをやる予定だったのですが、直前でパッコロリンに変更になり、焦りもありましたが、みんなでぐり返しをしました。その結果、3組は見事勝利を収めることができました。嬉しかったです。後から学級通信を読んで、先生も一緒にやってくれていたと知り、3組のノリとチームワークの良さが成功につながったんだと思いました。その後のクラススタンプでは、予定していたより音が小さいというハプニングもありましたが、無事最後までやりきることができました。ドラゴンナイトで学年全体、一致団結できたのも思い出深いです。1年生の時に青学年で作上げたこのダンスも今日で踊り納めだと思うと楽しさと寂しさで色々な思いが込み上げてきました。そして、キャンプファイヤーも終盤に近づいてきた頃、実行委員の出番がやってきました。とはいってもメインはキセキの文字です。けれど、私たちはキセキの文字の引き立て役を全うできたのではないのでしょうか？

キャンプ実行委員長を務めたことは自分への挑戦でもありました。そして、この活動を通して、私は成長できたと思います。さらに、その過程でやるべき課題が見えてきたので、今後の学校生活で解決を図っていきたいと思います。



『キセキ』

5組

5月31日、天気は絶好のキャンプ日和・・・ではありませんでしたが、私たちは南足柄市へキャンプに行ってきました。そして、ウォークラリーやキャンプファイヤーなど、たくさんの思い出をつくることができました。キャンプファイヤーは、実行委員さんたちが盛り上げてくれ、とても良いものになりました。だんだん小さくなっていく炎や、最後の締め言葉、ライトで作られた「キセキ」という文字に、感動して涙目になる子もいました。カレー作りは、小学校5年生のときのキャンプで一度失敗しているのですが、今回はどうなるかと思いましたが、無事成功できて良かったです。3年越しのリベンジ果たせました。

2年生としての行事はまだたくさんあります。このキャンプを機に多くの人と仲良くなれたはず・・・これからも青学年らしさ全開で輝石へと近づけていけたらと思います。



『予想外のキャンプ』

7組

今回のキャンプは雨で始まった。僕は、登山が中止になるならプレイルームでレクをするのだろうと思っていた。しかし、予想外なことに最乗寺のウォークラリーをすることに変わったのだ。僕はウォークラリーの事を全く頭に入れていなかったため、とまどってしまった。それで、少し道に迷ってしまったし、地図にある「問い」に対して答えているひまがなかった。最初のうちは班員も動揺していたようだが、ウォークラリーを進めるうちにだんだんと

慣れてきたようだった。最後には階段を何百段も登った。班員は坂を歩いていくのに疲れきっていたようだが、それでも一緒に登って行ってくれた。その結果、無事に到着することができた。野外炊事でも予定とは異なることがおきた。班の炊事係が道に迷ってしまったのである。他の班に後れをとって僕たちの班は夕飯のカレー作りを開始した。しかしながら、班員が「かまど」、「野菜を切る人」、「皮をむく人」と分担したおかげで、クラスの中でも、かなり早く作り上げることができた。僕は班員に助けられたと思った。最後の予想外は「朝食」だった。まさかカートンドックが灰になるとは誰も予想していなかっただろう。灰へと変化したカートンドックを僕達は食べることになったが、灰になっていない部分を何とかいただいた。このように、今回のキャンプでは予想外な事態がたくさんあった。しかし、このキャンプでは「予定通りに進める」ということは、いかに難しいかということを知ることができたのではないかと。それとともに班員との協力が重要であるということも、身をもって感じることができた。今回のキャンプでは、班員に対して日頃からの信頼感が強まっていたため、無事に過ごすことができた。次の行事でも同じようになるよう意識していきたいと思う。



『2学年最初の行事で』

9組

五月二十四日。キャンプの一週間前。クラスでは着々とキャンプの準備が進められていた。例えばスタンツの小道具作り。そのため、教室はダンボールであふれかえていた。

キャンプ前日。私はまだ全然持ち物を準備していなかった。そこで、部活から家に帰るとすぐに準備を始めた。いままで頑張って作ってきたスタンツの道具やヒル予防のための長ジャージ、虫よけなど持っていくものはたくさんあった。

私はとてもキャンプが楽しみだった。

キャンプ当日。カーテンを開けると雨が降っていた。そのため登山は中止となってしまった。けれど協力してウォークラリーをすることができて、班のみんなと仲を深めることができた。炊事ではカレーライスを作った。係を決めて分担して作ったカレーはとても美味しかった。そしてまちにまったキャンプファイヤーが始まった。どのクラスのスタンツもクオリティーが高くとても面白かった。実行委員が考えてくれた劇や学年レクも盛り上がることもできた。

朝になった。ウグイスのさえずりがとてもきれいだった。朝の集いが終わると、パカブと

サファリラリーが始まった。パカブは空中を歩いているような新鮮な体験ができ、とても楽しかった。サファリラリーでは自然をたくさん知ることができた。

私が今回のキャンプで学んだことは、みんなと協力して何かをやりとげることが一人でするよりも何十倍も楽しいということだ。そして、みんなで作れば何でもやりとげられるということだ。これらの学んだことをこれからの班活動などで生かしていけたらと思う。



<ファイヤー実行委員の作文>

『消えかかる炎に想いを』

8組

キャンプファイヤーの最後の最後の締めくくり。自分が担当しているものなのか、ずっと不安でした。練習していても、「自分でよかったのかな」と何度も思いました。ずっと怖かったです。

本番、キャンプファイヤーの火が消えてきて終わりが近づいてくるにつれて、私の緊張は増していきばかりでした。

みんなが目を閉じ下を向いている中、私は話し始めました。初めは怖く、緊張していたものの、話していると自分の感情も乗ってきて、メモではなく心から言葉が湧いてきました。『キセキ』の文字を見ながら話しているうちに、自分で言っているのに自然と涙が出そうになりました。青学年のみんなに出会えてよかったと思いました。

終わった後は、心の緊張が解けたのか、とてもすっきりしました。私の言葉のほんの少しでも誰かの心に届いていたら、私があ場所で話したことに意味があったと思います。初めのころは、「こんなことを言ったら笑われるかな」と思っていたのですが、そんなことは関係なく、自分の想いを伝えることができよかったなと思います。

今回のキャンプは自分のプラスになることがたくさんありました。こうしてよかったなと思う面もあれば、もっとこうしたかったと思う面もたくさんありました。でも、それを次に活かしてまた前進できたらいいなと思います。



<2日目のスナップ>





キャンプ実行委員の
みなさん
お疲れ様でした！



運動会の色が決まりました♪

昨日、1学期期末試験が終わりました。次の行事は9月23日（金・秋分の日）に行われる運動会です。今年度は生徒1名につき保護者1名が参観できる予定となっています。1学期中に選択種目を決め、2学期になると練習が始まります。先日体育委員がくじ引きをし、各クラスの色が決まりましたので、お知らせします。

2022運動会 色分け表

	赤	青	緑	白
1年	6組 8組	3組 4組	5組 7組	1組 2組
2年	1組 6組 8組	3組 7組	4組 5組	2組 9組
3年	4組 6組	5組 8組	3組 7組	1組 2組

2022 運動会テーマ

喜努愛楽

～大空に4つの

想いを届けよう～



保護者のみなさまへお知らせ

美術科・社会科の評価についてのプリントを配付しました。本校の成績評価については、昨年度に全教科の評価について冊子『観点別評価と評定について』をお配りしておりますが、美術科と社会科の成績評価について一部変更がありますので、別紙でお知らせいたしました。ご確認をよろしくお願いいたします。

